

第19回子ども虐待防止シンポジウム

日本における子ども虐待通告のあるべき姿 『子ども虐待通告窓口の一元化は是か非か？』

平成28年10月22日(土):学術集会(逐次通訳付き)

10月23日(日):パネル・ディスカッション(同時通訳付き)

【参加費】 一般 13,000円
会員 10,000円
学生 5,000円
ホットライン・スクリーナー研修受講者 8,000円
(10月24日・25日開催 ホットライン・スクリーナー研修受講料
別途 10,000円)

【会場】 東京都医師会館 2階 講堂
(東京都千代田区神田駿河台2-5)

《共催》

認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン
(旧名称 認定特定非営利活動法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク)
特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会

市区町村要保護児童対策調整機関職員のみならず、頭部外傷や骨折、熱傷等の外傷を負った重度の身体的虐待や性虐待の被害児など、一時保護等の職権発動を要する被虐待児が通告されてきて、「こういうケースの通告先は、児童相談所だよな」と感じたことはありませんか？

児童相談所職員のみならず、泣き声通告や面談DV通告などで、「こういうケースは、市区町村の保健師さんに訪問してもらった方がよいのになあ」と感じたことはありませんか？

「せっかく『189』ができたのに、十分に機能していない」という声も聞こえてきますし、「どの時点で警察と連携すべきなのかわからない」という声も聞こえます。

改正児童福祉法では、附則第二条第三項に「政府は、この法律の施行後二年以内に、児童相談所の業務の在り方、(中略)要保護児童の通告の在り方(中略)について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする」と規定されました。

さて、日本は、子ども虐待通告受理体制をどうすればよいのでしょうか？



お申込みはホームページから！

<http://symposium.childfirst.or.jp/>

海外招聘講師

Ida Sanders氏：米国オレゴン州子ども虐待通告
受理ワーカー（ホットライン・スクリーナー）

日本人講師

磯谷 文明氏：くれたけ法律事務所 弁護士

鈴木 秀洋氏：日本大学 危機管理学部 准教授

元 文京区子ども家庭支援センター課長

河浦 龍生氏：福岡市子ども家庭支援センター長

福岡市子ども総合相談センター（福岡市

児童相談所）前 子ども緊急支援課長

仙田 昌義氏：国保旭中央病院 小児科 部長

警察 官：警視庁 生活安全部 少年育成課 警察官

山田 不二子：認定NPO法人チャイルドファースト

ジャパン 理事長

FAX参加申込用紙

私は平成28年10月22日(土)・10月23日(日)の第19回子ども虐待防止シンポジウムに参加を希望します。
(Fax番号：0463-90-2716)

氏 名： _____

所 属： _____

職 種： _____

職 域： 医療 ・ 保健 ・ 福祉 ・ 心理 ・ 教育 ・ 警察 ・ 司法 ・ 一般市民

(該当する職域分野を○で囲んでください。)

会 員： CFJ正会員 ・ CFJ賛助会員 ・ KaPSANC正会員 ・ KaPSANC賛助会員 ・ 非会員

(該当する会員種別を○で囲んでください。)

連絡先： 自宅 ・ 勤務先 (連絡先としてご希望の方を○で囲んでください。)

住 所 〒 _____

Tel _____

Fax _____

メールアドレス _____

プログラム

一日目：2016年10月22日(土)【学術集会：逐次通訳付き】

時 間	次 第・テーマ	講 師
9:30 ～	受付	
10:00 ～ 10:10	開会のあいさつ	山田 不二子 認定 NPO 法人チャイルド・ファーストジャパン (CFJ) 理事長
10:10 ～ 10:30	「ポートランド(米国オレゴン州マルトノマー郡) 子ども虐待対応体制」の視察報告	磯谷 文明氏 くれたけ法律事務所 弁護士
10:30 ～ 12:30	「オレゴン州子ども虐待通告受理ホットラインの役割」	Ida Sanders 氏 オレゴン州ホットライン・スクリーナー
14:00 ～ 14:30	「市区町村における子ども虐待通告受理・初期対応体制」	鈴木 秀洋氏 元 文京区男女協働・子ども家庭支援センター課長 保育士資格 (神奈川県)
14:30 ～ 15:00	「児童相談所における子ども虐待通告受理・初期対応体制」	河浦 龍生氏 福岡市こども総合相談センター前 こども緊急支援課長
15:00 ～ 15:30	「警察における子ども虐待通報受理・対応体制」	警視庁 少年育成課 警察官
15:30 ～ 15:45	休憩	
15:45 ～ 16:15	「医療機関から市区町村・児童相談所への通告・警察への通報」	仙田 昌義氏 国保旭中央病院 小児科 部長
16:15 ～ 16:45	「1本の通告電話でトライージ(スクリーニング)はできるのか? できないのか?」	山田 不二子 CFJ 理事長
16:45 ～ 16:50	事務連絡	

二日目：2016年10月23日(日)【パネル・ディスカッション：同時通訳付き】

時 間	次 第・テーマ	パネリスト
10:00 ～ 12:30	「日本の子ども虐待通告受理体制の課題」 座長：山田 不二子	Ida Sanders 氏 鈴木 秀洋氏 河浦 龍生氏
14:00 ～ 16:30	「日本の子ども虐待通告受理体制のあるべき姿」 座長：山田 不二子	警視庁 少年育成課 警察官 仙田 昌義氏



会 場：東京都医師会館 2階 講堂
(東京都千代田区神田駿河台 2-5)
[定員 300 人]



《お問い合わせ》
子ども虐待防止シンポジウム事務局
〒259-1132
神奈川県伊勢原市桜台 1 丁目 5 番 31 号
チェリーヒルズ金田 2 階 B 号室
TEL : 0463-90-2715 FAX : 0463-90-2716
E-mail : info@symposium.childfirst.or.jp